四国西予ジオパーク
SHIKOKU SEIYO GEOPARK

西予市議会だより

かけはし

第75号
2023.1.20 発行
令和4年 第4回 定例会

かけはしになれる議会 親しまれる議会をめざして

西予市成人式に出席された
リナ・ドラムスレンさん

令和4年 ●第4回定例会

西予市のこんなことが決まりました。

会　期　11月28日～12月16日

会議期間　19日間

第４回定例会の議案は

令和４年度補正予算	11件
契約案件	2件
条例制定	3件
条例の一部改正	36件
条例廃止	2件
指定管理者の指定	9件
専決処分事項の報告	1件
請願	2件

今号では、その中から１つを Pick up

全ての議案と結果は、P5をご覧ください。

●議案ピックアップ

Pick up 1
令和5年4月より子ども医療費助成の対象年齢が拡充されます

〈議案第138号　西予市子ども医療費助成条例の一部を改正する条例制定について〉

西予市では、子ども医療費助成の対象年齢を、18歳以下まで拡充し、子育て世代への経済的支援を充実させる。

小中学生については、平成30年4月から、通院について児童1人につき月額自己負担額2千円を引いた額を助成し、令和3年4月からは無償化している。これを更に18歳以下までを助成対象に拡充する。

県内だけでなく全国的に、人口減少対策を目的に子育て支援策が行われている。出産一時金の増額や令和5年4月にこども家庭庁が新設されるなど、子育て環境の整備が進んでいる。

「子育てするなら西予」を実現するための重要な施策が行われる。

Pick up 2
定期借地権を設定する実証実験を行います

〈議案第151号　西予市一般会計補正予算第8号〉

子育て世代等の移住・定住を促進するため、土地開発公社が所有するみどり団地の土地を購入し、実証実験を行う。

土地取得優遇措置を実施し、住宅取得奨励金事業を新設し、西予市に子育て世代を呼び込むための、せいよde子育て応援金事業を新設する。

市内外の若年層の持ち家取得で市内定住を図り、出生数の増加を見込み、市外在住者を市内定住に結びつけることで、南予地域の人口を西予市に集中させ人口の増加とともに市税も増え、財源確保も可能となり、持続的な市政運営に寄与することが期待される。

表紙の彼女は…？

西予市では、国際協力と国際貢献を目的に海外から技能実習生を受け入れています。

1期生の一人、リナ・ドラムスレンさん（愛称：ドラムさん）が、令和5年成人式に出席されました。つくし苑での実習で介護技術や知識などを修得し、3年後に祖国であるモンゴルへ帰国される予定です。

●年頭のごあいさつ

西予市議会議長　小玉　忠重

新年、明けましておめでとうございます。

昨年は、新型コロナウイルスに振り回された1年でありました。今年は新型コロナウイルスの感染予防や行動制限などをしなくてもよい、普通の日常生活が送れることを願っております。

先般、愛媛県から「何もしなければ西予市の人口が2060年には1万2千人弱に減少する」との予測が発表されました。これは西予市にとっては大きな課題になることでしょう。

今年4月からは、各地区公民館が役割の変化により「地域づくり活動センター」となり、より一層、地域の団結力や工夫・智恵などが問われるようになります。地域課題はその地域によって異なります。地域で解決できること、地域づくり活動センターで解決できること、行政に頼らなければ解決できないことなど様々あろうかと思います。議会は住民の代表として、それらの諸問題の解決に取り組んでまいります。

本年が、皆様にとって幸多い年になりますことをご祈念申し上げ、新年のごあいさつといたします。

●こんな質疑が出ました

Q　西予市地域づくり活動センターの設置及び管理に関する条例制定について、運営委員会委員の委嘱を市長ではなく、センター長にした方がより自主的に発展するのではないか。また、センター長の権限として、人数や人選を任せてはどうか。

A　地域づくり活動センター推進計画において、事業の企画実施審議機関として、現在の公民館運営審議会に代わり、社会教育事業やセンター運営について指導・助言できる審議機関を新たに設置できるものとしている。地方自治法の規定に基づき、執行機関の附属機関として設置する必要があると考え、設置するもので、任命者は市長となる。

各センターでは、運営委員会の意見をもとに、それぞれの地域の特色を生かした地域の自主的な活動の発展につながるよう運営したいと考えている。委員会の人数等についても、センター長と地域との話し合いで決定することとしており、権限として明記するより運用の中で十分に対応できるよう、各地域のセンター設置検討委員会において説明していく。

Q　令和5年4月からの各施設利用料の改定に、電気料金の上昇は反映されているのか。

A　今回の使用料の見直しは、受益と負担の公平性を確保するためにその積算根拠を明確化し、市民や受益者、利用者の方から理解が得られる合理的な料金設定に見直すことを主目的としている。

見直しを行った時期に、電気料は高騰しておらず、電気料の変動までは加味していない。

請願第2号

学校給食の無償化を求める請願

賛成少数　不採択

請願第3号

西予市内の事業者から購入を求める請願書

全会一致　趣旨採択

※内容等は、P6の総務常任委員会審査報告をご覧ください。

令和４年　第４回西予市議会臨時会議決結果

（令和４年11月7日）

議案番号	件名	議決年月日	議決結果
議案第 104 号	令和４年度西予市一般会計補正予算（第７号）	11月 7日	原案可決

令和４年　第４回西予市議会定例会議決結果表

（令和４年11月28日～12月16日）

議案番号	件名	議決年月日	議決結果
議案第 105 号	野村中学校外壁改修工事変更請負契約について	12月16日	原案可決
議案第 106 号	西予市地域づくり活動センターの設置及び管理に関する条例制定について	12月16日	原案可決
議案第 107 号	西予市教育委員会の職務権限に属する事務の管理及び執行の特例に関する条例制定について	12月16日	原案可決
議案第 108 号	西予市債権管理条例制定について	12月16日	原案可決
議案第 109 号	西予市職員の定年等に関する条例等の一部を改正する等の条例制定について	12月16日	原案可決
議案第 110 号	西予市ギャラリーしろかわ条例の一部を改正する条例制定について	12月16日	原案可決
議案第 111 号	西予市営球場条例の一部を改正する条例制定について	12月16日	原案可決
議案第 112 号	西予市運動公園条例の一部を改正する条例制定について	12月16日	原案可決
議案第 113 号	西予市立学校施設の開放に関する条例の一部を改正する条例制定について	12月16日	原案可決
議案第 114 号	西予市歴史民俗資料館及び郷土文化保存伝習施設条例の一部を改正する条例制定について	12月16日	原案可決
議案第 115 号	西予市図書交流館条例の一部を改正する条例制定について	12月16日	原案可決
議案第 116 号	西予市隣保館条例の一部を改正する条例制定について	12月16日	原案可決
議案第 117 号	西予市保健センター及び保健福祉センター条例の一部を改正する条例制定について	12月16日	原案可決
議案第 118 号	西予市明浜健康管理センター条例の一部を改正する条例制定について	12月16日	原案可決
議案第 119 号	西予市宇和福祉センター条例の一部を改正する条例制定について	12月16日	原案可決
議案第 120 号	西予市老人憩の家条例の一部を改正する条例制定について	12月16日	原案可決
議案第 121 号	西予市移住交流体験施設の設置及び管理条例の一部を改正する条例制定について	12月16日	原案可決
議案第 122 号	西予市宇和文化の里条例の一部を改正する条例制定について	12月16日	原案可決
議案第 123 号	西予市農村改善センター条例の一部を改正する条例制定について	12月16日	原案可決
議案第 124 号	西予市大野ヶ原育成牧場条例の一部を改正する条例制定について	12月16日	原案可決
議案第 125 号	西予市野村シルク博物館条例の一部を改正する条例制定について	12月16日	原案可決
議案第 126 号	西予市城川緑地休養施設条例の一部を改正する条例制定について	12月16日	原案可決
議案第 127 号	西予市城川みどりの交流館条例の一部を改正する条例制定について	12月16日	原案可決
議案第 128 号	西予市城川ふるさと交流館条例の一部を改正する条例制定について	12月16日	原案可決
議案第 129 号	四国西予ジオミュージアムの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について	12月16日	原案可決
議案第 130 号	西予市城川総合運動公園条例の一部を改正する条例制定について	12月16日	原案可決
議案第 131 号	西予市営プール条例の一部を改正する条例制定について	12月16日	原案可決
議案第 132 号	西予市社会体育施設条例の一部を改正する条例制定について	12月16日	原案可決
議案第 133 号	西予市市民憩の家条例の一部を改正する条例制定について	12月16日	原案可決
議案第 134 号	西予市ふれあいの森林施設条例の一部を改正する条例制定について	12月16日	原案可決
議案第 135 号	西予市乙亥の里条例の一部を改正する条例制定について	12月16日	原案可決
議案第 136 号	西予市俵津文楽会館条例の一部を改正する条例制定について	12月16日	原案可決
議案第 137 号	西予市農業集落排水事業に地方公営企業法の財務規定等を適用することに伴う関係条例の整備に関する条例制定について	12月16日	原案可決
議案第 138 号	西予市子ども医療費助成条例の一部を改正する条例制定について	12月16日	原案可決
議案第 139 号	西予市城川文書館設置条例の一部を改正する等の条例制定について	12月16日	原案可決
議案第 140 号	西予市野村少年自然の家条例を廃止する条例制定について	12月16日	原案可決
議案第 141 号	西予市介護予防施設条例を廃止する条例制定について	12月16日	原案可決
議案第 142 号	西予市宇和文化の里施設の指定管理者の指定について	12月16日	原案可決
議案第 143 号	宇和米博物館（旧宇和町小学校）の指定管理者の指定について	12月16日	原案可決
議案第 144 号	西予市獣肉処理加工施設の指定管理者の指定について	12月16日	原案可決
議案第 145 号	西予市大野ヶ原育成牧場の指定管理者の指定について	12月16日	原案可決
議案第 146 号	西予市明浜柑橘加工施設の指定管理者の指定について	12月16日	原案可決
議案第 147 号	西予市明浜観光交流拠点施設の指定管理者の指定について	12月16日	原案可決
議案第 148 号	西予市野村茅葺き民家交流館の指定管理者の指定について	12月16日	原案可決
議案第 149 号	西予市みかめ海の駅の指定管理者の指定について	12月16日	原案可決
議案第 150 号	西予市みかめ本館の指定管理者の指定について	12月16日	原案可決
議案第 151 号	令和４年度西予市一般会計補正予算（第８号）	12月16日	原案可決
議案第 152 号	令和４年度西予市国民健康保険特別会計補正予算（第２号）	12月16日	原案可決
議案第 153 号	令和４年度西予市農業集落排水事業特別会計補正予算（第２号）	12月16日	原案可決
議案第 154 号	令和４年度西予市水道事業会計補正予算（第２号）	12月16日	原案可決
議案第 155 号	令和４年度西予市公共下水道事業会計補正予算（第２号）	12月16日	原案可決
議案第 156 号	令和４年度西予市病院事業会計補正予算（第１号）	12月16日	原案可決
議案第 157 号	令和４年度西予市野村介護老人保健施設事業会計補正予算（第１号）	12月16日	原案可決
議案第 158 号	ＣＡＴＶ整備事業 城川サブセンター整備工事変更請負契約について	12月16日	原案可決
議案第 159 号	西予市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	12月16日	原案可決
議案第 160 号	西予市特別職の職員で常勤のものの給与等に関する条例の一部を改正する条例制定について	12月16日	原案可決
議案第 161 号	西予市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定について	12月16日	原案可決
議案第 162 号	西予市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について	12月16日	原案可決
議案第 163 号	西予市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例制定について	12月16日	原案可決
議案第 164 号	令和４年度西予市一般会計補正予算（第９号）	12月16日	原案可決
議案第 165 号	令和４年度西予市国民健康保険特別会計補正予算（第３号）	12月16日	原案可決
議案第 166 号	令和４年度西予市水道事業会計補正予算（第３号）	12月16日	原案可決
議案第 167 号	令和４年度西予市簡易水道事業会計補正予算（第１号）	12月16日	原案可決
請願第２号	学校給食の無償化を求める請願	12月16日	不採択
請願第３号	西予市内の事業者から購入を求める請願書	12月16日	趣旨採択
報告第 19 号	専決処分事項の報告について	11月28日	報　告
	議員派遣の件について	12月16日	承　認

表決結果

西予市議会　令和４年第４回定例会
【会期：令和４年 11 月 28 日～ 12 月 16 日】

賛否の分かれた議案です。
その他の議案については全会一致です。

番号	件名	1 和気 数男	2 宇都宮久見子	3 信宮 徹也	4 宇都宮 俊文	5 加藤 美香	6 中村 一雅	7 河野 清一	8 佐藤 恒夫	9 山本 英明	10 竹﨑 幸仁	11 小玉 忠重	12 源 正樹	13 井関 陽一	14 中村 敬治	15 二宮 一朗	16 兵頭 学	17 森川 一義	18 酒井 宇之吉	議決結果	議決日
請願第２号	学校給食の無償化を求める請願	○	欠	議長	○	×	×	×	○	×	○	欠	×	欠	○	×	欠	○	×	不採択	12月16日

（○：賛成　×：反対　欠：欠席　除：除斥　棄：棄権）　※議長は表決権がありません（可否同数の場合のみ表決権があります）

総務常任委員会

委員会では、本会議で付託された議案をより詳しく担当部署から説明を受け、調査・審査します。

23件の議案・2件の請願を審査

Q 西予市債権管理条例制定後の管理、運用方法は

A 令和5年度から税務課内に設置予定の債権整理室において滞納整理事務のノウハウを有する職員が、不良債権の回収を行うだけでなく債権所管課への職員研修を行うとともに財産調査をはじめとする滞納整理の指導、助言も行っていきたいと考えている。

Q 移住交流体験施設を増やしていく予定は

A 西予市内には民間を含め2件の移住交流体験施設があり、市として直営の施設を今後増やす予定はないが、地域で移住体験施設を整備する場合の補助事業を整備しており、引き続き支援していきたい。

請願第2号
「学校給食の無償化を求める請願」

不採択

調理に必要な人件費や施設整備費については市が負担しているため、食材の部分だけの無償化になろうと思うが、全ての児童生徒の給食費を無償化にすると約1億円の追加負担になり、西予市の財政面から難しいのではないかなどという理由から不採択と決した。

請願第3号
「西予市内の事業者から購入を求める請願書」

趣旨採択

行政が市内の事業者から物品を購入するという請願の趣旨には賛同できる。

しかし、請願提出者が西予市文具組合であり、物品というのは文具だけに限るものではないこと、納入する市内事業者においても販売努力をして頂きたいとの意見があり趣旨採択と決した。

所管事務調査
田之筋公民館を視察

令和5年4月より公民館が地域づくり活動センターとしてスタートする。

試験的運用を行っている田之筋公民館で地域づくり協議会活動などの説明を受けた。

令和4年度から取り組んだ『たのすじマルシェ』の様子

厚生常任委員会

12件の議案を審査

Q 宇和福祉センターの管理計画について

A 老人憩の家と高齢者創作館の建物は老朽化しており、今後は取り壊しも含めて方向性を検討していく。

Q 俵津地区の老人福祉センターが廃止されるが高齢者への配慮は

A 条例上では各地域の間で不公平感が存在している。地域づくり活動センターが設置されることにより子どもから高齢者まで幅広く世代間交流できる場としての活用を見込んでおり、俵津地区等においても運営上には不公平感のない配慮を検討していく。

Q こども医療費の助成での過剰受診による医療費増加の危惧は

A 令和3年度から実施している中学校卒業までの医療費助成については、コロナの影響もあるが、受診の件数、医療費ともに伸びはなく、適正に受診されている。

所管事務調査
地域包括支援センターを視察

12月9日に地域包括支援センター本所を訪問し説明を受けた。

センターは、高齢者等の総合相談窓口として、保健師・社会福祉士・看護師・主任介護専門員・介護支援専門員・事務方で構成し、ワンストップ対応をしている。介護予防を主とした事業展開のなかで、高齢者の権利擁護や元気づくりの応援を行っている。

現在、地域で認知症の人を見守る仕組みづくりや医療との連携などが喫緊の課題となっている。なお、地域包括ケアシステムの構築には、多くの関係機関との連携強化と※規範的統合が必要である。

※規範的統合とは地域包括ケアシステムの構築に関する基本方針であり、地域内の価値観や文化といったものに対する視点が、住民、専門職、サービス提供主体によって共有されること。

産業建設常任委員会

23件の議案を審査

Q ふるさと納税推進事業について、人気の返礼品と寄附金額の目標は

A 返礼品は、みかんやみかんジュース、モンブラン、タイやヒラメが人気である。

令和４年度当初は3億8千万円の寄附金額を目標に取り組んでいたが、3千万円の増額を見込んでいる。令和５年度は寄附金額の目標を５億円に定めて事業に取り組む。

Q 宇和米博物館の指定管理者候補、一般社団法人ｎｆｃとは

A 宇和町の不動産業や建築業の事業者を中心に構成された団体で、西予市内の空き家、空き地に係る諸問題解決に関する事業や移住・定住事業を推進し、西予市の魅力向上、地域振興に寄与することを目的に設立された団体である。

Q 獣肉処理加工施設（ししの里せいよ）の受け入れに問題はないか

A 当施設の処理能力は年間１２０頭で計画しているが、令和４年度は10月末時点で１２０頭を超える処理を行っている。人員を増員して対応しているが、施設の処理能力の関係で受け入れを断る事態も生じている。

捕獲されたイノシシ

Q 西予市指定管理者等選定評価委員会の構成は

A 以前は職員が評価委員を兼ねていたが、第三セクターの改革等を進めており、令和４年度から大学教授や税理士、社会保険労務士など専門的な知見を有する外部の方が評価委員となり審査を行っている。

Q 野村シルク博物館の団体割引はどうなるのか

A 現在は15人以上の団体の場合、50円割引をしているが、今回の条例改正により中学生以下を無料に改め、団体割引を廃止する。

一般質問

みなさんの生活にかかわる内容について質問を行います。

一般質問

二宮　一朗

Q 災害時、各家庭の井戸を活用するために調査をしてはどうか

A 生活用水の供給は水道施設の復旧を待つしかない状況である。生活用水としての災害井戸の活用は、全国の事例を見ても有効であると認識している。また、災害時に活用できる井戸の調査については、近隣の自治体も災害応急用の井戸の登録を実施している自治体もある。井戸の状況と災害時の活用に関する調査など、自主防災組織を通した情報収集、また、それらを基にした地域での訓練も取り入れていただきたいと考えている。

家庭用井戸の活用を

Q ＳＮＳとホームページでの情報発信の方針は

A 令和５年度、ＬＩＮＥ導入を考えている。通報機能を含めた各機能については、他市町の状況を参照し、本市の実情に合わせた運用が行えるように検討していく。

ホームページは市の情報発信を行う広報媒体の中心で、スマートフォンでも閲覧しやすい情報を発信していくよう検討を進めている。

今後、市の公式ＳＮＳとの連携を図りながら運用していく。

一般質問

井関　陽一

Q ＤＸの今までの取組と改善された内容は

A 総合窓口にて、手続きのワンストップ化により市民の皆様が移動せずに各種手続きを行えるようになった。

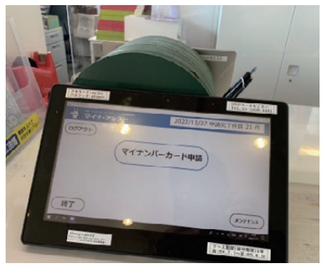
現在、各種証明書の発行については、一部手続きについてタブレット端末からタッチパネルで選択し、電子的にサインするだけで行える。

令和５年度からは、地域づくり活動センターにおいても行えるよう進めている。

Q 中学校部活動の地域移行について、現状は

A 国の提言を受け、県では、部活動の地域移行に係る推進計画を令和４年度中に策定することとなったため、本市のスケジュールも県の推進状況に合わせて見直し、令和５年度を部活動の地域移行に係る準備期間とし、令和６年度から可能な限り全ての部活動で、休日の活動を地域に移行するよう必要な準備を進める。

学校関係者、スポーツ・文化活動関係者、保護者等で構成する予定の推進協議会を令和５年度初めに開催し、部活動の参加主体となる生徒の意見を含め、様々な意見を集約し、スムーズな地域移行につなげたい。



タブレットによる窓口での申請

一般質問

宇都宮　俊文

Q　西予市移住・定住事業の成果は

A　転入された方のアンケートによると、令和元年度に46名、令和2年度に41名の移住者があったのに対し、令和3年度は約3倍に当たる122名、95世帯の移住者数の実績があった。令和4年度については、10月末時点で61名、47世帯と、令和3年度に比べやや少ない水準ではあるものの、依然として多くの方が移住をしていただいている。

Q　募集方法と内容は

A　コロナ禍の中、移住・定住交流センターと協力の上、令和4年度からは、令和3年度以上に積極的に東京や大阪での対面移住フェア等への出展を強化したほか、地域おこし協力隊に興味がある方々に対しては、応募前に受入れ地域やミッションとのミスマッチを解消することを目的としたお試し地域おこし協力隊制度の運用も継続して実施している。

西予市移住交流体験施設（明浜町）

Q　西予市肥料価格高騰対策事業の内容は

A　肥料価格の高騰による農業経営の影響を緩和するため、令和3年からの肥料費の上昇分に対して、国事業で7割、県が1割、市が1割の補助金が交付される。肥料購入額に対して約18％の支援額である。国、県の窓口は愛媛県農業再生協議会事務局、市は西予市農業水産課になる。

一般質問

宇都宮　久見子

Q　新卯之町駅舎の活用方法は

A　西予市への入り口の門として駅舎を設計しており、人を迎えるための門として宇和盆地に点在する長屋門をモチーフに整備を進めた。木材は全て西予市産材を利用し、東京オリンピックで使用された木材の一部を活用して建設している。

　新駅舎において、駅待合所を利用したイベントや、観光情報の発信が容易となるので活用を図りたい。令和5年は卯年であり、全国で唯一「卯」のつく駅として全国的にアピールできるよう関係団体と連携して卯之町駅を活用したい。

Q　飼い主のいない猫に対して市民・行政はどのように関わるべきか

A　市民の皆様には餌やりや置き餌は飼い主のいない猫を増やしトラブルの原因となるのでやめていただくようお願いする。市としては、人と猫が共生できる地域づくりをめざし地域が協力して行う※地域猫活動の支援を進めていく。周知徹底については、広報せいよにおいて不妊・去勢手術に対する支援の案内や不必要な繁殖防止を呼びかけている。引き続き効果的な啓発が図られるよう努めていく。

飼い主のいない猫

※地域猫とは地域の理解と協力を得て、住民の認知と合意が得られている特定の飼い主のいない猫

一般質問

酒井　宇之吉

Q　空き家の倒壊や倒木等の予想される避難路は、事前復興対策の中で考慮できているか

A　空き家や倒木の対応はどの地域においても喫緊の課題となっていると考える。これらについては、事前復興まちづくり計画の中で、実際に地域の現場を歩いてどこが避難路として支障が出てくるのか、倒壊する建物はどこにあるのか、実際に見ていただいてご意見を頂戴したい。優先順位等を考慮しつつ対応を検討して参りたい。

Q　人口減少が深刻化している中、西予市が自治体存続のために執るべき政策は

A　令和4年9月に愛媛県は2020年の国勢調査結果に基づく将来推計人口を公表した。西予市は2020年の3万5388人から、2060年には66・6％減の1万1816人になるとの見通しが示された。

　西予市では、ジオブランドの推進、医療・介護・健康対策、結婚・出産・子育て対策、地域交付金事業等を推進している。

　また、令和4年10月には部局を越えた若年職員9名による人口減少対策プロジェクトチームを結成し、関連データの分析・新規事業の提案を行う予定である。

倒木の恐れのある避難路（明浜町）

一般質問

竹﨑　幸仁

Q　西予市事前復興まちづくり計画の内容と進捗状況は

A　令和3年3月に策定された南海トラフ地震えひめ事前復興推進指針を踏まえたもので、南海トラフ巨大地震への備えと、その後の復興に資するため、愛媛大学の協力により令和4年度内の策定を目指して取り組んでいる。

　現在「命を守る」をメインテーマとし、中高校生をはじめ幅広い年代でワークショップを行うことで、事前復興まちづくりイメージの共有化に努めている。その一つに愛大生の発案による三瓶の町並みを再現したVR（仮想現実）で災害時の状況を疑似体験もできる。このVRの教材化については、大学とも検討しており、引き続き支援していく。

Q　コロナ禍がいじめ・不登校の要因になっていないか

A　コロナウイルス感染症の拡大が主たる要因との断言はできないが、様々な活動制限からのストレス、基本的な生活習慣の乱れ等の影響は考えられる。

　現在は、児童生徒の自己肯定感が下がらないよう工夫ある教育活動に取り組んでいる。不登校生徒への対応としては、様々な成果を上げている宇和中学校内のサポートルームでの取組を市内の学校全体に広げ、支援の充実を図っていく。

ワークショップの様子

一般質問

和気　数男

Q　憲法第26条に基づき義務教育は無償とする観点で給食費の無償化を行う必要があるのではないか

A　憲法第26条における義務教育の無償化は、授業料及び教科書の無償ととらえ、学校給食法第11条及び同法施行令で示されている人件費や施設整備、維持管理費については、現時点では市が負担し、食材費については引き続き保護者に負担いただきたいと考えている。

Q　物価高騰の今、生活保護の受給状況と対応について

A　生活保護の受給状況は令和４年10月末現在で259世帯298人、令和３年度末の受給状況が同世帯300人で大きな変化はない。令和４年度10月末までに申請・開始の新規ケースが16件で令和３年度と比べて３件ほど増えている。保護申請に至った理由の多くは、疾病や体調不良により就労ができなくなり、物価高騰による暮らしの変化が直接保護開始につながるケースは多くはない。

しかし、福祉総合相談センターには、生活困窮や就労支援の相談もあり、コロナ禍の長期化に加えて、物価高騰が生活を直撃し、様々な不安を抱える方も多いので、今後も必要な支援が速やかに届くよう取り組む。

せいよ東学校給食センター（野村町）

一般質問

中村　一雅

Q　平成30年７月豪雨災害からの復旧・復興に係る現在までの総事業費と主な事業は

A　総事業費は各年度の決算における主要な施策を集計して、総額125億3273万6千円となっている。

主な事業は乙亥会館・旧大和田小学校のグラウンド及び体育館・米博物館・城川運動公園などの災害復旧事業で12億2546万3千円、災害公営住宅整備事業に７億3109万1千円、せいよ東学校給食センター建設事業に６億6244万1千円、クアテルメ宝泉坊管理運営事業に１億9470万円をかけ実施した。

Q　三瓶地区における避難所の整備状況は

A　沿岸部で最大想定の津波が襲来した際、使用できる避難所は非常に限られてくる。避難に特化した施設を新たに設置することは、普段の利用方法や維持管理の観点から現在検討していない。しかし、現在進めている事前復興まちづくりワークショップの意見等も踏まえて、今後の避難所の在り方、また既存施設の有効活用も含めた避難施設の在り方については前向きに検討していきたい。

避難所を兼ねた防災倉庫（三瓶町）

一般質問

山本　英明

Q　ジオミュージアムの活用方法は

A　ジオミュージアムには発表会等も実施できるように、展示室にはステージも設置している。屋外の西側と南側に４ｍ幅の軒があり、テントを張らなくても軽食コーナーや物産販売が行えるスペースとなっている。令和４年11月には、３年振りに「奥伊予ふるさと祭り」が開催され、企画展示室内での文化協会発表会や書道、川柳などの展示、屋外スペースでは農産加工品の販売や餅つきなどが行われ、多くの人で賑わった。積極的に近隣施設と連携することで城川地域への経済効果が更に高まると考えている。

Q　ジオミュージアムの人事面も含めた今後の展望や秘策は

A　令和５年度からは、ジオパーク推進業務を本庁から城川支所への変更を予定しており、ジオパーク推進室がジオミュージアム、ギャラリーしろかわ、城川歴史民俗資料館を総括して一体的な対応が出来るような整備体制を考えている。

近隣施設への相乗効果を図るために、３館共通チケットの販売も予定しており、より一層の観光客誘致を考えている。

四国西予ジオミュージアム（城川町）

市民と議会との意見交換会を開催しました

地域おこし協力隊ＯＢ・ＯＧとの意見交換　11月22日開催

地域おこし協力隊ＯＢ・ＯＧの皆さんにご意見を伺った。

■西予市の地域おこし協力隊を増やすには

西予市の自然と地域の人達とのつながり作りを進める。

ＳＮＳで情報発信して関係人口を増やすことが必要である。

■移住して感じたこと

子育てをする中で医療体制と保育施設に不便を感じる。病院保育園など子育て環境を充実してほしい。

■医療福祉関係従事者の定住に向けた取り組み

定住するとなると生活を支える仕事が重要となる。

今、都会で暮らす医療福祉関係従事者の方は疲弊されている。福祉関係の仕事をされている方はコミュニケーション能力が高いので、協力隊に来ていただき任期終了後に資格を使える仕事に就いていただく方法がある。

協力隊 OG がオープンしたバー＆ゲストハウス ento house にて（野村町）

西予市議会では、毎年「開かれた議会」を目指し、市民の皆さんから議会や市政に対するご意見を伺う「市民と議会との意見交換会」を開催しています。
各種団体や様々な職種の皆さんと、議会との意見交換を実施し、様々なご意見をいただきました。

西予市医師会との意見交換会 11月24日開催

西予市の医療体制について医師会と意見を交換した。医師会の先生方から出た主な意見は

■子どものインフルエンザワクチン接種費用の助成を

13歳未満の接種は2回必要で経済的な負担が大きく、コロナウイルス感染症との同時流行を防ぐ意味合いから、接種率を上げることが医療費の抑制につながる。

■開業補助金制度の拡充を

現在、産科・小児科医の開業については新規開業促進事業があるが、市内開業医の高齢化も進んでおり、将来の医療体制確保のためには診療科を限定しない開業医への開業補助金制度の拡充が必要である。

■両市立病院の医療従事者確保と離職防止対策を

松山市と比較し、西予市の医療従事者の給料が低い。若い職員の呼び込み、医師、看護師の離職防止に繋げるため、給与や手当の引き上げを検討する必要がある。

■南予圏域の医療の連携化

将来の人口減少と医師の高齢化を見据え、地域の医療確保のためには、近隣市町との広域連携化が必要である。

意見交換会の様子（市役所６階にて）

㈱エフシーと西予市森林組合との意見交換会 11月30日開催

株式会社エフシーと西予市森林組合との意見交換会を実施した

■森林環境譲与税の使い道について

道路等への支障木伐採に使用し、支障木を伐採した沿線に「森林環境譲与税を使用しています」といった看板を設置することはできないか。

■地域おこし協力隊について

森林・林業分野で地域おこし協力隊制度を活用し、地域を盛り上げる事ができないか。

■物価高騰対策について

原油価格・物価高騰等の影響に伴い、林業に対して機械等燃油購入費用の支援はできないか。

■有害鳥獣対策について

皆伐した場合、再造林を行う必要があるが、鹿などに食い尽くされる被害が増え、皆伐を行うことが困難な状態である。有効な支援や対策はないか。

意見交換会の様子（野村支所にて）

遊佐町少年議会・取手市オンライン委員会視察

議会運営委員会

日程及び視察先

令和４年10月5日～7日
山形県遊佐町、茨城県取手市議会、東京インタープレイ㈱を視察しました。

視察内容

遊佐町では少年議会が20年目を迎える事業である。対象者は遊佐町在住者の中高校生と遊佐町に通学する高校生で、その中から町長1名議員10名を選挙で選び実行予算45万円で、1年間かけて自分たち提案の事業に取り組んでいる。
取手市議会ではタブレットを使ったオンライン委員会を令和２年９月から導入している。このことにより様々な理由で登庁できない議員が、委員会に於いて「説明・質疑・委員間討議」に参加することが可能になった。
東京インタープレイ㈱では、電子採決導入の進捗状況について聞き取りを行った。

少年議会について学ぶ（山形県遊佐町）

これから

西予市議会では、高校生との意見交換会を行っているが、中学生との意見交換会等を進める。自分たちの意見が市政に反映されれば、議会や行政に関心を持ち活躍していただく方が増えることが期待できる。
タブレット導入後、経費削減、災害時の即時対応、連絡・報告などの効率化を目指したが、ペーパレス化は完全にはできていない。今後、タブレットを2台活用することで完全ペーパレス化を図り、さらなる経費削減に取り組むよう議論を進めたい。

電子採決システムを導入しました

令和４年11月7日、臨時会での表決を初めて電子採決システムで行った。

導入の経緯

議会では起立による採決が原則で、起立＝賛成者の多数または少数で決定されていた。しかし、時としてタイミングがずれて、起立したかどうかがあいまいであったり、賛否が拮抗しているときなどは集計に時間がかかることもあった。

メリット

電子採決においては採決結果が議場後方のモニターとＣＡＴＶの中継の画面に表示される。その際、議員の名前と賛否、票数も併せて表示され、1人1人の賛否が傍聴者にも一目瞭然で解るようになった。また、けがや障がいなどで起立や挙手が困難な議員も容易に賛否表決が可能になり議会のバリアフリー化にもつながる。

課題と展望

少々まごついて時間がかかってしまう議員や、事務局職員や近くの議員の助けを借りながら操作する議員もいたが、無事に採決を終えた。
今後は議員1人1人がタブレットの操作に精錬し、より一層のＩＣＴ利活用に努めていきたい。

採決システムの画面

きかせて！あなたの夢

西予市の小学生が将来の夢を語るコーナーです。

永田（ながた）　悠悟（ゆうご）さん（宇和町小学校６年）

ぼくの将来の夢は教師です。先生は、難しい勉強をわかりやすく教えたり、大量の提出物をチェックしたりする姿がかっこいいとずっと思っていました。一年生の時からずっと教師になりたいと思い続けています。

教師になるためには、努力することが大切です。今までぼくは、ノートをきちんと書くこと、忘れ物をしないように毎日チェックをすること、宿題は必ずていねいにすることなどを習慣付ける誓いを立てて努力を続けてきました。この誓いはこれからも必ず守り、将来へとつなげていきたいです。

教師になる気持ちが折れぬよう日々努力をしていきます。未来の子どもたちを前に、教師になっている自分がいると信じて。

議会レポート　「黒松内町議会表敬訪問」

令和４年 11 月 21 日、22 日の両日、姉妹都市 29 年目を迎えた北海道黒松内町からの表敬訪問団が来市された。訪問団は、福本議長、菅副議長をはじめとした議員８名と事務局２名の総勢 10 名。議員全員協議会室で、西予市 PR 動画を視聴しながら意見交換を行った。

翌日は、西日本豪雨からの復旧状況と防災対策について座学にて研修を行い、その後は、野村町の復興まちづくりエリアに赴き、現地にて視察研修をされた。

令和５年度は 30 周年の節目を迎えるので、更なる交流の深まりを期待したい。

編集後記

今回の定例会においても条例が制定されました。条例とは地方公共団体が制定する自主法です。他の市町ではその地域特有の問題解決のため「牛乳で乾杯条例」などユニークな条例も制定されています。西予市においても地域の問題解決に向けて、インパクトのある条例を制定してもいいのではないかと考えています。

加藤　美香

◎編集委員

委員長　中村　一雅
副委員長　源　正樹
委員　和気　数男
宇都宮久見子
加藤　美香
山本　英明
井関　陽一

発行／西予市議会　編集／議会だより編集委員会　発行責任者／西予市議会議長　〒797-0015 西予市宇和町卯之町三丁目434番地1　TEL0894-62-6413

PRINTED WITH SOY INK　この広報紙は、資源保護と環境に配慮して再生紙、大豆油インキを使用しています。